

○事業所名	ひなた園		
○保護者評価実施期間	2025/09/22		2025/11/03
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025/09/22		2025/11/03
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025/12/14		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画の作成 ・支援に関わる職員が複数名参加し、個別支援計画を作成しています。	児童発達支援管理責任者は実際に支援に入りながら、現状の把握と課題の設定を行っています。 作成に関する会議には、保育士や児童指導員が複数名参加し意見を出してくれています。	多くの方にご利用いただいているので、一人一人に対しての、検討会議の時間は短くなっています。 業務の効率化に努め、支援計画作成への時間をより多く取ることに努めています。
2	共感的な支援 「その人になってみる」精神で、常に一緒にしています。	法人理念に対して、高い理解を持ったベテラン職員が多いです。 1人1人に寄り添い、常に学ばせていただくという姿勢で支援を行っています。	想像力に頼ることなく、正確な記録から適切な答えにたどり着く事を意識していきます。
3	環境整備の継続 ・利用者様の様子を見ながら、常に環境の改善に取り組んでいます。	現状の使用法で良しとせず、常に事業所の使い方を検討しています。	これからも、より良い使用法を検討していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間での情報共有 ・保護者様からのお話を、十分に共有できていない事があることを再認識しました。	いただいた情報の保管先など、扱い方についてはある程度形が出来ていますが、保管先の定期的なチェックなど伝達を完了する流れが作れていませんでした。	確実に伝えるために、チャット機能など活用していこうと思います。 日々の業務の中で、情報を確認することをルーティンに加えていきます。
2	事業所内の様子のお伝え ・現状行っている活動、避難訓練等の様子など、保護者様へのお伝えが不十分であると感じます。	写真などの配布が月に一度のお便りのみで、お便りに載る写真も少ないのが現状なので、事業所内の様子がイメージし辛いのではないかと思います。	SNSなどを活用し、より多くの写真の共有を行う体制を作っていきたいと考えています。
3	地域への参加 ・地域の児童館などへの交流の機会が取れていませんでした。 ・事業所へ、地域の方をお招きする機会もありません。	地域資源の活用について、今までも取り組んでいなかったもので、そもそも使用について検討の機会も持っていませんでした。 感染症の流行以降、地域の方へのお招きも、控えている状態です。	事業所として、地域資源の把握と活用について検討の機会を持っていきます。